

## 子どもミュージカル制作上演過程の考察 2

—平成 25 ～ 28 年度保育ゼミ—

伏見 強

平成 21 年度から 29 年度までの 9 年間、子ども向けミュージカルの制作と上演を本ゼミ活動の柱に据えている。年度によりテーマや題材、それに伴う課題は異なるものの、徐々にではあるがゼミ生の自発性も発揮されオリジナリティのある活動へと発展してきた。本論考は、平成 25 年度の本学紀要に発表した研究ノートの続編として平成 25 ～ 28 年度の 4 年間の活動を中心に纏める。指導計画や学生が制作した台本、発表の録画などに基づいて当該各年度の発表の成果や特徴を振り返った。

キーワード：保育ゼミ、ヴォーカル・アンサンブル、子ども向けミュージカル、制作上演

### 1. はじめに

当初から平成 27 年度まで、本ゼミのテーマを「アンサンブル演習」とし、合唱や合奏、音楽劇などのアンサンブル演習を通していろいろな音楽に親しみ、幼児音楽との関連を考えてきた。

平成 28 年度より「保育ゼミⅠ」（1 単位）「保育ゼミⅡ」（1 単位）に改訂されたのを機に、テーマを「ヴォーカル・アンサンブル演習」に変更し、これまでのゼミの取り組みを反映させてヴォーカル・アンサンブルを中心に、いろいろな音楽に親しみ、幼児音楽と関連づけて演習することを強調した。

本ゼミ生はこのアナウンスを基に、歌や踊りを中心とした音楽表現活動の実践に期待し集まっており、自然な形で幼児向けミュージカル制作上演を目指してきた。

例年、前年度に上演した演目の録画を鑑賞した後にその年度の演目を決めてきたが、どの学年にとってもミュージカルの上演は初めてのことであり、一様に演目の決定でさえ議論が百出し、制作のプロセスを把握するまでには多くの時間を要してきた。年度によって受講生の志向

やミュージカルへの認識が様々で、結果としてタイトルが同一の場合でも発表の題材やテーマが異なり、毎年度、新たな視点を盛り込んだ特色ある活動になった。

平成 21 ～ 24 年度の 4 年間の取り組みは「子どもミュージカル制作上演過程の考察—平成 21 ～ 24 年度ゼミ—」<sup>1)</sup>にまとめたので、本稿はその続編として平成 25 ～ 28 年度の活動をまとめることにした。

なお、ゼミ生の人数は平成 21 ～ 23 年度が各 20 名、24 年度は 28 名であったが、25 年度から学科の方針に倣い、本ゼミの定員も原則 14 ～ 15 名とした。

以下、ミュージカル等上演の概要、授業の経過、制作上演したミュージカル等の特徴、考察の順に述べる。

### 2. ミュージカル等上演の概要

各年度共前期のまとめとしてオープンキャンパスのミニミニコンサートに参加し発表した（表1）。これらは後期に公演予定のミュージカルを意識して企画したプログラムであり、その準

表1 前期の上演題目、日程、場所

前期	演目	発表日	会場
平成25年度	ボディーパーカッション：クラッピングカルテット、ハモネプ：（混声四部合唱版）「ルージュの伝言」 他	平成25年6月22日 平成25年8月2/3日	同唱館
平成26年度	女声二部合唱：「ドレミの歌」 他、ダンス：「アンパンマンたいそう」、女声三部合唱：「ホールニューワールド」	平成26年6月21日 平成26年8月1/2日	同唱館
平成27年度	女声三部合唱：「未来へ」「いぬのおまわりさん」「ほたる」 女声二部合唱「勇気100%」「世界が一つになるまで」	平成27年6月19日 平成27年8月6/7日	同唱館
平成28年度	女声二・三・四部合唱メドレー：「君をのせて」「勇気100%」 「ビビディ バビディ ブー」「虹」	平成28年6月18日 平成28年8月5/6日	同唱館

表2 後期の上演題目、日程、場所

後期	演目	発表日	会場
平成25年度	創作音楽劇「山の音楽家」	平成26年1月22日	同唱館
平成26年度	ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」	平成27年1月20日	同唱館
平成27年度	音楽劇「となりのトトロ」	平成28年1月26日	同唱館
平成28年度	劇あそびミュージカル「3匹のこぶた」「こびととくつや」	平成29年1月10日	M414教室

備としての意味合いも含んでいる。

平成25～27年度の後期は幼稚園児等との交流音楽会での上演を目差したが、28年度は自主公演として実施した。各年度の演目は表2のとおりである。

平成25年度は前期にボディーパーカッション：Clapping Quartet No.1、No.7（作曲：長谷部匡俊）、ハモネプ<sup>2)</sup> 風アカベラ（混声四部版）「耳をすませば」より「カントリー・ロード」（作詞作曲：Bill Danoff, Taffy Nivert, John Denver、編曲：倉知竜也）、「となりのトトロ」より「さんぽ」（作曲：久石譲、編曲：倉知竜也）、「となりのトトロ」より「となりのトトロ」（作曲：久石譲、編曲：倉知竜也）、「魔女の宅急便」より「ルージュの伝言」（作曲：荒井由実、編曲：倉知竜也）を取り上げ発表した。

後期は前期の発表を基にして台本の作成から始めて、音楽劇『山の音楽家』（表3）を制作し発表した。

平成26年度の前期は女声二部で「にじ」「ド

レミの歌」を、女声三部で「ホールニューワールド」を合唱し、「アンパンマンたいそう」をダンスした。

後期は前期の発表を足掛かりにして台本から作成してミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』（表4）を制作し発表した。この台本作成に当たって、物語の流れを次の①～⑧項目に整理した。①マリアがやってくる。②大佐に会う、子どもが自己紹介、→大佐退場。③ドレミの歌④ひとりぼっちの羊飼い（途中で終わる）。⑤大佐が旅行に出る。⑥私のお気に入り。⑦大佐が帰ってくる→エーデルワイス→大佐が途中から一緒に歌う。⑧合唱コンクール的な（ドレミの歌）。

平成27年度の前期は女声三部で「未来へ」、「いぬのおまわりさん」、「ほたる」を女声二部で「勇気100%」、「世界が一つになるまで」を合唱し振付をつけて発表した。

後期は前期の活動を踏まえつつ、音楽劇「となりのトトロ」を台本から考えて制作発表した（表5）。この台本制作時に考えた粗筋は次のとお

表3 音楽劇『山の音楽家』（平成25年度）

—ステージ上 動物たちが『山の音楽家』を歌っている—

—女の子登場—

女の子： ああいいお天気。山でお花でも摘んでいこうかしら。  
……あれ？何か聞こえる！ちょっと行ってみよう！

こじり： ねえねえ、みんな、誰か来たみたいだよ！

りす： 誰かな？お客さんかな？

ためぎ： ポクたちの歌声を聞きに来たんだよ。

うさぎ： そーだよ、きっと聞きにきてくれたんだよ！

—女の子 動物の方へ行く—

女の子： ああ……あなた達はだれ？

パンダ： ポクたちは山の音楽家だよ。

きつね： この山で仲間たちと一緒に音楽を楽しんでいるんだ。

女の子： へえ……なんかとっても素敵ね！ところでさっきは何をしていたの？

ひつじ： 歌を歌っていたんだよ！

くま： 『山の音楽家』って言う曲でね、まあポクたちのテーマソングみたいなものかな。

女の子： 歌？歌ってなに？

—動物たち 一斉に驚く—

こじり： もしかしてキミ、歌を知らないの？

りす： ポクが教えてあげよう。歌っていうのは声と声が響くハーモニーが重なりあって  
一つのメロディーになってね……

ためぎ： まあまあ難しいことはおいて！

うさぎ： まずはリズムの練習からだ！

パンダ： ポクたちのマネをしてみよう！

～クラッピング～

きつね： そうそう、そんな感じ！

ひつじ： 練習はここまで。次はちょっと難しくなるよ。

くま： 準備はOK？

～ボディパーカッション～

女の子： すごい、楽しい！リズムって体全身で楽しめるんだね！

それに、ワタシにも簡単にできた！

—ドミミパイプを用意して—

こじり： そういえばさ、ポクたちいいものをもってるんだ！

女の子： なになに？わたしにも教えて！

りす： キミもこれをもってみよう。

—ドミミパイプを手渡す—

ためぎ： さあ、ドミミのうたをたたいてみよう！

～ドミミパイプ～

歌 ♪： ドはドーナツのド、ミはミモンのミ、ミはみんなのミ、ファはファイトのファ……  
(だんだん重なっていく)

さあ歌いましょう(全員)

パイプ： ドミミ ミソソ しファファ ラシシ……ドー——ドー

歌 ♪： どんな時にも……さあ歌いましょう

→ 『さんぽ』

～前奏～

うさぎ： もうこれでばっちりだね！一緒に歌おう！

女の子： 歌ってとっても楽しいし、とっても素敵だね！

表4 ミュージカル『サウンド・オブ・ミュージック』（平成26年度）

ナレーション：今日は、マリア先生が7人の子供達にお勉強を教えるに お家にやってきました。	—マリア先生も寝る—
—マリア舞台から出てくる—	大 佐： 明日から私はしばらく旅行にでかけますが…いいですか？
マリア： 今日から7人の子供達にお勉強を教えるのよね、賢明する。	歌なれて悲しみはしませんからね！
—ベルを鳴らして大佐が出てくる—	さあ、今日はもう夕飯の時間だ。早く食べにきなさい！
マリア： 二にちは！今日から先生としてお世話になるマリアです。	—大佐が退場して、続いて子供たちも退場—
大 佐： ようこそ、マリア先生。私が7人の子供達の父親、トラップ です。	—マリアもしがしき退場—
—中に入って子供達の紹介—	場面転換（AとBの役が入れ替わる）
大 佐： 子どもたちを紹介しましょう。	—【私のお気に入り】の歌を歌いながらマリアが出てくる—
—笛を鳴らして、行進しながら7人の子供達が登場—	—途中から子供達もやってくる—
—一人ずつ兵隊のように名前を言っていく—	子供（フリギッタ）： マリア先生、それはなんの歌？
大 佐： 新しい先生のマリア先生だ。	マリア： 私のお気に入りという歌よ
それでは、マリア先生、私は仕事があるのでこれで、子ど もたちのことをよろしくお願します。	子供（リレー）： 私のお気に入りには———
—大佐退場—	子供（フリット）： 僕のお気に入りにはジョン・ボン・ボン・カエリス。
マリア： 今日からみんなの先生になるマリアよ。よろしくね。	【私のお気に入り】
子供（フリット）： 先生ねー！	マリア： そうだわ！みんなで歌を練習して大佐を驚かせましょう！
子供（フリット）： 先生なれてほっといて部屋に戻ろう！	子供（リレー）： でもお父様は歌が嫌いよ！
—子供達が戻ろうとしてマリアが引き止める—	マリア： 大丈夫、みんなの歌を聞いたら気持ちが変わるわ！
マリア： ちょっとまって！そうだわ！みんなが仲良くしたいから、一 緒に歌を歌いましょう！	—そうときまったら練習よ！
子供（グリーティ）： 歌？歌ってなに？	—みんなで走るように退場—
マリア： もしかして歌を知らないの？	ナレーション： マリアが7人の子供達は毎日歌を練習しました。
—子供達全員が頷く—	そしていよいよ、お父さんが帰ってくる日です。
マリア： それじゃあ、簡単な曲から練習よ！【ドミの歌（途中まで）】	—【エーデルワイス】—
子供（フリギッタ）： 歌って楽しいね！	—大佐がくぐり帰って部屋をのぞき、しばらく静かに聞いて出てくる—
子供（リレー）： 初めて歌ったけど、すごくわくわくしたよ！	子供（フリット）： お父さん！
子供（リレー）： マリア先生他の歌は？	—ひとりが気づくみんなが気づく—
マリア： それじゃあ次は、この曲を歌ってみましょう！	子供（グリーティ）： おかえりなさい！
さあ！準備はいい？	全 員： おかえりなさい！
子供全員： うん！【ひとりの羊飼い（途中まで）】	大 佐： 今回の歌は子供たちが歌っていたのですか…
—大佐が出てくる—	マリア： そうですよ！みんなお父さんが帰ってくる時に聞いてもらおう と一生懸命練習しました！
大 佐：何を騒いでいる！	—大佐、子供達の顔を見て感動する—
—子どもたち喋ってて整理する—	大 佐： ……すばらしい。歌なれてお喜ばしいと思っていたが —子供達喜ぶ—
大 佐： マリア先生、子どもたちのことをよろしくお願しましたが？	大 佐： そうだ！合唱コンクールにでよう！
マリア： ええ、だから子供達と一緒に歌を！	トラップファミリー音楽隊だ！
大 佐： 子供たちには必要ありません！歌も楽しい。	マリア： 賢明！
マリア： それじゃあ何をしよう？	子供（フリット）： お父様もでる？
大 佐： 勉強を教えてください。悲しみなれません！	大 佐： もちろんだ！みんなです！
	—大佐先生に司会者をしてもらってみんながドミの歌を全部歌う！—
	—コンクールに優勝して喜んで終わり！—

表 5 音楽劇「となりのトトロ」(平成 27 年度)

<p>♪となりのトトロ</p> <p><b>第 1 場 メイがトトロに出会うシーン</b></p> <p>ナレーション: 「入院中のお田さんの病院の近くに、仲良し姉妹のメイとサツキが引っ越してきました。メイは車で屋根のバケツを見つけてました。バケツに顔を突っ込み探査していると、小さいどんぐりを見つけました。すると、メイの後ろに白い影が湧きました。メイは夢中で白い影を追いかけます。</p> <p>—メイ観客席に走り走る—</p> <p>—一本のトンネルの中を全速力で駆け抜ける中—</p> <p>メ イ: あなたはだあれ? まっくらくろすけ?</p> <p>トトロ: くわああああ</p> <p>メ イ: くわああああああああああ</p> <p>トトロ: くあ・くあ・ろ</p> <p>メ イ: トトロ? あなたトトロっていのね?</p> <p>トトロ: トトロ♡</p> <p>ナレーション: サツキが学校から帰ってきてメイがいなくて気づきました。</p> <p>—サツキがメイを探しながら登場—</p> <p>サツキ: だいたい—メイは?</p> <p>—メイを探しに行く—</p> <p>父: さっきまで遊んでたんだけど、その辺にいないかい?</p> <p>—サツキが寝ているメイを発見する—</p> <p>サツキ: メイ! こんなところで寝てちゃダメでしょ!</p> <p>メ イ: トトロは?</p> <p>サツキ: トトロ?</p> <p>メ イ: ほねにトトロいたんだもん! 嘘じゃないもん…。</p> <p>ナレーション: メイが見たトトロは本当にいるのでしょうか。それでも、メイが見た夢なののでしょうか…。</p>	<p><b>第 3 場 メイとサツキがケンカするシーン</b></p> <p>電話: こんにちは、七国山病院です。</p> <p>サツキ: お田さんの病院からだわ!</p> <p>お田さんに何かあったんだ!</p> <p>—サツキ退場—</p> <p>—サツキ、メイ歩きながら話す—</p> <p>サツキ: メイ、お田さん様の具合悪くなっちゃったから帰るのは難しいって!</p> <p>メ イ: やだあ!!!</p> <p>サツキ: 帰って来る日が少し延びるだけだって</p> <p>メ イ: やだあ!!!</p> <p>サツキ: じゃあお田さんが死んじゃってもしいの!?</p> <p>メ イ: やーだあああー!!!!</p> <p>サツキ: メイのバカ! もう知らない!!</p> <p>メ イ: お姉ちゃんバカ!</p> <p><b>第 4 場 メイがいなくなるシーン</b></p> <p>ナレーション: サツキとケンカしたメイは、お田さんのいる病院に 1 人で向かうことにしました。手にお田さんに寝すトウモロコシを持って…。</p> <p>—メイがいなくなったことに気づいたサツキはメイを必死で探します—</p> <p>—一本のトンネルの前で—</p> <p>サツキ: メーイ!! お願ひ、トトロの所へ通して!</p> <p>メイがいなくなっちゃったの。</p> <p>トトロ: メイがま子になっちゃったの。</p> <p>今頃さっきどこかで立っているわ。</p> <p>私、どうしたらいいかわからないの。</p> <p>お願ひ! メイを探して!!</p> <p>トトロ: うおおおおおおおおー。</p> <p>—ネコバスに乗りメイを探しに行く—</p>
<p><b>第 2 場 メイとサツキがバスでトトロに出会うシーン</b></p> <p>ナレーション: ある日メイとサツキは雨の中、お父さんの帰りを待っていました。</p> <p>サツキ: これ、あげる。</p> <p>トトロ: くわああああ♪</p> <p>—♪ネコバス: ③終わる—</p> <p>父: やあ、ごめんごめん。</p> <p>電車が遅れて間に合わなかったんだ。</p> <p>メイとサツキ: 合っちゃった! トトロに合っちゃった!</p> <p>こーんな目してるの! こーんな手してるの!</p> <p>こわーい!!</p> <p>ナレーション: 3 人は仲良く家へ帰りました。</p> <p>—♪風の湧き音—</p> <p>ナレーション: その日の夜、サツキは病院にいるお田さんに手紙を書きました。</p> <p>学校のことでメイのこと、そしてトトロに合ったことを……</p> <p>その次の日です。</p>	<p><b>第 5 場 メイとサツキが再開するシーン</b></p> <p>サツキ: メーイ!</p> <p>メ イ: おねえちゃん</p> <p>サツキ: もう! バカメイ!</p> <p>メ イ: ごめんなさい!</p> <p>—サツキにメイ話す—</p> <p>—ネコバスに乗り込む—</p> <p>ナレーション: ネコバスのおかげで無事に再開することができた 2 人。</p> <p>さらにネコバスはある場所に連れて行ってくれるのです。</p> <p>サツキ: お田さんの病院に連れて行ってくれるの?</p> <p>ネコバス: やあお〜♪</p> <p>—ネコバス到着(家族で話す)—</p> <p>ナレーション: お田さんにトウモロコシを寝すことが出来た 2 人。</p> <p>やがて、お田さんの病気が良くなり退院していつまでも家族 4 人幸せに暮らしたとさ。</p> <p>おしまい。</p>

りである。「引っ越してきた→トトロとの出会い→（暗転）→雨の日のバスシーン（ドングリ、ネコバス）→（暗転）→夢の中のトトロとの出会い（ナレーション（手紙））→母の退院が遅れる→メイ消える（メイとサツキが喧嘩）→メイが消える→おばあちゃんが叫ぶ→サツキがネコバスに乗る→メイが見つかる→ハッピー」

平成28年度前期は振付をつけて「君をのせて」「勇気100%」「虹」を二部合唱し、「ビビディ バビディ ブー」は四声部で合唱した。

後期は劇あそびミュージカル「3匹のこぶた」「こびととくつや」<sup>3)</sup>をテキストに従って制作し、本学の音楽教室において自主公演した。

### 3. 授業の経過

便宜上、前後期をそれぞれ前半、中盤、後半の3つに区切り、さらに補習補講期間などで実

施した集中練習も加えて通年をⅠ～Ⅷの8期間に分けて授業の経過を年度別に記し、企画から上演までの制作の過程並びに各年度の授業の進捗状況を辿る（表6）。

例年、前期の活動を踏まえて後期にゼミのテーマであるミュージカルを制作してきた。平成25～27年度のゼミ生はオリジナルティを求める傾向が強く、話し合いを重ねて上演目を決め、台本も自分たちで作成した。受講生の主体的な関わりに期待して学生同士の合議の結果を重視した。

平成28年度は幼稚園や保育所などの幼児教育の現場を意識して発刊されているテキストを使用し制作過程の効率化を図った。

### 4. 制作上演したミュージカルの特徴

制作上演したミュージカルを年度別に整理し

表6 年度別授業実施概要

	25年度	26年度	27年度	28年度
I	24年度ゼミ上演ミュージカル録画鑑賞 Clapping Quartet No.1、No.7	25年度ゼミ上演創作音楽劇録画鑑賞 Clapping Quartet No.1、No.7	26年度ゼミ上演ミュージカル録画鑑賞 合唱「未来へ」他	27年度ゼミ上演音楽劇録画鑑賞 合唱「君をのせて」他
II	Clapping Quartet No.1 & 7 ハモネプ：「カントリー・ロード」「さんぽ」「となりのトトロ」他	合唱、振付：「にじ」「ドレミの歌」「あしたははれる」、ダンス：「アンパンマンたいそう」	合唱、振付：「未来へ」「勇気100%」	合唱、振付：「君をのせて」「勇気100%」「ビビディ バビディ ブー」「虹」
III	ボディーパーカッションとハモネプ、ダンス	女声三部合唱：「ホールニューワールド」合唱、振付 後期演目の検討	合唱、振付：「いぬのおまわりさん」「ほたる」「世界が一つになるまで」	振り付き合唱メドレー：「虹」 「君をのせて」「勇気100%」「ビビディ バビディ ブー」
IV	舞台練習、リハーサル、上演			
V	創作音楽劇「山の音楽家」台本作成、配役決定	ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」あらすじ・台本・使用音楽・ダンス・配役等決定	音楽劇「となりのトトロ」あらすじ・台本・使用音楽・ダンス・配役等決定	劇あそびミュージカル「3匹きのこぶた」「こびととくつや」音楽練習、配役決定、台詞練習
VI	音楽練習、台詞練習、大道具・小道具・衣装・照明・音響プラン作成、大道具・小道具・衣装制作			
VII	通し稽古、総合練習、舞台練習			通し稽古、総合練習、上演
VIII	舞台練習、リハーサル、上演			

その特徴を整理する（表7）。

平成25年度の創作音楽劇「山の音楽家」では前期に学習したボディーパーカッションやハモネブを活用して台本を作成した。また、「山の音楽家」や「ドレミの歌」なども加え、ドレミパイプも使用した。

平成26年度制作のミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」はミュージカル映画「サウンド・オブ・ミュージック」<sup>4)</sup>を簡潔にまとめ、父・トラップ大佐が子どもたちの歌う「ドレミの歌」に感激する場面を物語のピークにしている。幼児にも分かり易い台本を心がけた。

平成27年度の音楽劇「となりのトトロ」はアニメーション映画「となりのトトロ」<sup>5)</sup>を参考に

して、子どもも楽しめる台本に仕上げた。音源の多くをCDに求め過ぎた嫌いはあるものの、大型のトトロやネコバスを制作するなど意欲的な表現活動に発展した。

平成28年度は市販されているテキスト・劇あそびミュージカル「3匹のこぶた」「こびととくつや」を採用し、歌や演技、演出、大道具、小道具などの制作に重点を置いた。

この年度の発表は会場を教室にしている自主公演になった。同一フロアで観客と距離が近く出演者は演じ難さを感じる反面、大ホールでは得られない表現の醍醐味も味わっていた。

表7 劇あそびミュージカル等制作上演の特徴

	25年度	26年度	27年度	28年度
演目	創作音楽劇「山の音楽家」	ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」	音楽劇「となりのトトロ」	劇あそびミュージカル「3匹のこぶた」「こびととくつや」
台本	ゼミ生が意見を出し合って音楽劇を創作	ミュージカル映画「サウンド・オブ・ミュージック」を参考にして台本を制作	アニメ映画「となりのトトロ」を参考にして学生たちが台本を制作	藤本ともひこ作・演出 中川ひろたか作曲
音楽	山の音楽家 Clapping Quartet No. 7 ドレミの歌 さんば 他	ドレミの歌 <sup>6)</sup> エーデルワイス <sup>6)</sup> ひとりぼっちの羊飼いの歌 <sup>6)</sup> 私のお気に入り <sup>6)</sup> 他	さんば、風のとおり道 メイとすすわたり まいご、ネコバス ふしぎしりとり歌 となりのトトロ	かわいいこぶたちゃん、 ぼくのおうち、おれさま オオカミ、こびとのしごと、 なんてすばらしいくつ、 ありがとうありがとう 他
演出・配役	ゼミ学生合議			
衣装・小道具	ゼミ学生手作り			
大道具	ゼミ学生が制作した背景画を後幕に大画面で投射			ゼミ学生制作の背景画をスタンド式スクリーンに投射
音響・照明	ステプロに依頼			ゼミ学生
演奏	ピアノ伴奏付き合唱、独唱 ボディーパーカッション ドレミパイプを使用	ピアノ伴奏付き合唱 独唱	ピアノ伴奏付き合唱 独唱 音楽CD再生	ピアノ伴奏付き合唱 独唱
特色	前期に学習したボディーパーカッション、ハモネブを生かして台本を作成	ミュージカル映画を子ども向けに簡潔にまとめ、分かり易い台本を作成	アニメ映画を簡潔にまとめ子どもも楽しめる台本を作成	劇あそびミュージカル「3匹のこぶた」「こびととくつや」をテキストにする

## 5. 考察

前期ゼミのまとめとして6月と8月のオープンキャンパスのミニミニコンサートに参加してきたが、例年6月期は幼稚園実習明けで中には実習期間中の学生もいた。当日の朝にリハーサルを実施し、そのまま本番というスケジュールは一般的には無謀な挑戦に見えるが、いずれの年度も緊張感のあるしっかりした舞台発表になった。また、8月のオープンキャンパスの頃は前期定期試験が前後し、保育所実習も目前に迫る時期であり、学生はタイトな時間を遣り繰りしながら頑張ってきた。

後期ゼミのまとめとして1月後半の交流音楽会に参加してきたが、この時期も後期定期試験前の補講期間中である。幼児教育学科Ⅱ回生の学生は極めて多忙であり、全員が揃って取り組むことを前提とする本ゼミのような活動ではこれらの時期の練習日程の調整も課題の一つであった。

平成25年度の創作音楽劇「山の音楽家」、平成26年度のミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」、平成27年度の音楽劇「となりのトトロ」の台本は、当該年度のゼミ生が全員で話し合い、自らが制作し発表することを前提に試行錯誤を繰り返しながら各自の知識や知恵を出し合って仕上げた。台本に多少の不満を感じても練習で補い合い、最後まで全員が協力しあって制作したものであり、作品発表としても評価したい。

平成25～27年度まで、台本作成に多くの時間とエネルギーを割いてきたことを踏まえ、平成28年度は出版されている劇あそびミュージカル「3匹のこぶた」「こびととくつや」をテキストに採用し、制作することに力を注いだ。これらの作品は誰もが知る童話であり、子どもたちが生活発表会などにおいて演じて楽しめるよう

にと、平易で親しみやすい音楽が付されており、物語の構成なども様々な工夫がみられる。

舞台上演を目指す、ともすればスケールの大きな作品に目が向いてしまう嫌いがあるが、劇あそびミュージカル「3匹のこぶた」「こびととくつや」は子どもたちが演じることを前提に演出・構成されており、会場を大ホールから教室に移すことを可能にした（図1）。



図1 「3匹のこぶた」オオカミ登場

教室を会場にするためにプロジェクターやスタンドスクリーン、パーティションなどを持ち込み、机を後方に片付け、客席を作る作業が必要となった。また、設定した舞台の奥行きも4～5mしか取れず、大人の演技者には少々窮屈と思われた。しかし、それにも増して観客とのこの距離の近さが発表者のモチベーションを高め、練習場所を会場としたことの効果は大きなものがあった（図2）。



図2 アンコール

いずれの年度も前期の取り組みを後期に活かしながら発展的にミュージカルを制作し上演に結びつけることができた。学生たちは多くの葛藤と修正を繰り返しながら聴衆を前にした上演の経験によって、授業では得難い達成感を味わうことができた。

## 6. おわりに

平成21年度から28年度までの8年間、子ども向けミュージカルの制作と上演を本ゼミ活動の柱に据えてきた。例年、前年度の録画を鑑賞して演目を考えさせたが、次年度のゼミ生が前年度の演目を踏襲したことは一度もなく、新しい演題に挑戦してきた。

毎年、同じところで立ち止まりながらも、学生たちは自分たちの思い描いている舞台づくりに励み、試行を積み上げ、舞台発表を目標にして何とか形にしてきた。そもそもミュージカルは音楽・演劇・造形などの総合的なグループ表現活動であるから創作のプロセスは複雑であり時間もかかる。

平成28年度は子どもたちが演じることを目的に創られたミュージカルの制作にチャレンジした。平成29年度も観せる・聴かせるミュージカ

ルから子どもが演じて楽しむ劇あそびへと視点を移して、これらの活動に直接的に関わるのできる保育技能の獲得を目指している。

### 註および引用文献

- 1) 子どもミュージカル制作上演過程の考察－平成21～24年度ゼミ－、京都文教短期大学研究紀要、第52集、pp.147-154 (2014.3)
- 2) アカベラのコーラスにスポットを当てた企画。楽器を使わずに声だけですばらしいハーモニーを奏でる高校生を中心とした若者のパフォーマンスを応援していこうという番組。リードボーカルやコーラスパートだけでなく、ベース音、ドラム音、ボイスパーカッションが加わり、本物のバンドさながらのサウンドを奏でる。ウィキペディアフリー百科事典、<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%8F%E3%83%A2%E3%83%8D%E3%83%97%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B0> (2017.11)
- 3) 劇あそびミュージカル「3匹のこぶた」「こびととくつや」藤本ともひこ、中川ひろたか、ハッピーオウル社、東京、pp.5～32 (2010.8)
- 4) DVD「サウンド・オブ・ミュージック」ファミリー・バージョン日本語吹き替え版、20世紀フォックスホーム エンターテインメント ジャパン株式会社 (発売元)
- 5) 劇場用アニメーション映画「となりのトトロ」サウンドトラック集 原作・脚本・監督：宮崎駿、音楽：久石譲、STUDIO GHIBLI RECORDS、東京(1988.4)
- 6) サウンド・オブ・ミュージック合唱曲集、第14版、株式会社ヤマハミュージックメディア、東京 pp.21～74 (2011.5)

